

# ねりいた 練板ベー通信

2019年3月12日 vol.193

練馬板橋ベーゴマの会

作：夕陽のヤスジ



## 強い、強すぎるぞ、ソウタ〜!

桜の蕾もふくらみ、暖かな陽気に包まれた板橋平和公園で、3月10日(日)「第十七期ベー王戦」が開催され、決勝戦はマックス対ソウタの戦いとなり、2本取られ後のない土俵際からソウタが3連勝という大逆転で王座を獲得した。先月、花やしきで行われた大会の決勝と同じ顔合わせ、その時はマックスに軍配があがったが、今度はソウタがお返しだ。

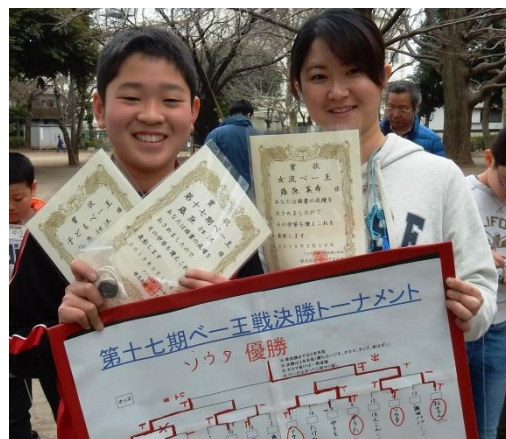
### 寺子屋から3人決勝トーナメント進出の快挙

おとなと子どもの差など何もない。勝ったり負けたり、床の上では対等だ。いつしか教え子が師匠を超える。これが世の習いだ。ベー王戦はタイマン勝負の本格戦。実力がもろに出る戦いだ。だから現在のレベルがハッキリする。その予選で好成績を残し、決勝トーナメントに進んだのは、1位から順にソウタパパ、床さん、マックス、松ちゃん、ソウタ、カイヤ、もんこ、ゆうと、ゆうた、ゆうすけ、りゅうく、ほん魂、奥田パパ、なおと、ソウタママ、たけひろの16名だ。何と、子どもが8人、ハルクも、鉄人後藤も、ギャオじいも、ヒデさんもない。替わりに寺子屋の教え子のカイヤ、ゆうと、たけひろの3人が残ったのだ。現実には厳しい、だがこの現実を素直に受け入れ、初心に帰り床入れから見つめ直すしかないだろう。

### ソウタ土壇場から大逆転でマックスを潰す

その決勝トーナメントで順調に勝ち上がったのはマックスとソウタだ。マックスはなおと、カイヤ、ゆうすけを退け、ソウタはほん魂、松ちゃん、ゆうたを破っての決勝戦進出だ。マックスはNIBバロンドール4回の絶対王者、ソウタは各地の大会を総なめする、今やベーゴマ界ナンバーワンの実力の持ち主、どちらが勝ってもおかしくないのだ。

1本目、マックスが「そこっ」と声をあげるとソウタベーを弾き出す。順調な滑り出した。2本目、審判のヒデさんが声を掛ける。「チッチのチッ」とすると「コツン」という音とともにソウタが床外した。これは珍しい。これで2対0、後1本取ればマックスの優勝が決まる。やっぱりマックスか〜、とみんなが思ったに違いない。しかし、勝負はここから



ソウタ、ソウタママ おめでとう!



だったのだ。3本目、ソウタが「よしっ」とつぶやくとマックスベアが飛んで行き1本返す。不思議なものだ、1本返しただけなのに、「おやこれは分からないぞ」という雰囲気になってしまうのだから。ここからソウタが攻める。「よしっ」「よしっ」、この精神力はどうやって養われたのだろうか。気がつけば3本連取でソウタの勝ちだ。崖っぷちで踏ん張り、そこから押し返す。この強さは本物だ。「どうしたらソウタに勝てるだろう」ハルクに訊いてみた。すると「分からない。勝てる気がしない」だと。唯一のヒントはゆうたがソウタに勝ったあの戦い方だろうか。そのためのベア、床入れを磨くしかないか。



## 子ども王もソウタ、女流王はソウタママ

子ども王はもちろんソウタだが、女流王は女性で唯一決勝トーナメントに進出したソウタママだ。トーナメントでは、床さんに勝ちベスト8まで進んだ。しかし、いったい藤原家にはいくつのタイトルベアがあるのだろう。

## ガチホンコはゆうたとソウタ

ガチホンも子どもに持っていかれた。1回目はゆうただ。松ちゃん、イッサ、あつし、なおと、まみいを破つての全部取り。先月はだいちさん、親子で稼ぐねえ。2回目はソウタ。あつし、ギャオじい、ともみ、あきと、イッサを倒し、24個のベアをせしめた。それにしても子どもが強いねえ。おとなの出る幕がないよ。



## バロンドールはいゅうくとゆうすけ

さて、今年も3月が終わり一年の4分の1が過ぎた。毎月優勝者が違うので、抜きんでた人はいない。その中で暫定トップはりゅうくとゆうすけだ。りゅうくは3ヶ月連続で決勝トーナメントに進出、そのうちチーム王戦で優勝している。ゆうすけは干支王戦とベア王戦でもベスト4だ。まだだんご状態だから、このまま混戦が続くかも知れず、誰にもチャンスがある。誰が抜けてくるのか楽しみだ。

## 名人戦三月場所はほん魂がトップ

今月から始まった第十九代名人戦予選はほん魂がトップでスタートした。勝ち点48、アベレージも3.29で好発進だ。2位にはりゅうく41点、3位はゆうた30点と続く。まだ始まったばかりだが、今回は40人枠がすべて埋まっているので、長い戦いになりそうだ。11月の決勝戦に向け、張り切っていきましょう。



め 目にもものを  
見せてやりたいが  
コマと腕が力ミ合わず  
鉄人

絶体絶命、  
いやいや、  
さらさら